

令和7年度 第1回 森町総合教育会議

日時：令和7年7月2日（水）午後3時30分～

場所：森町文化会館 第1研修室

1 開 会 （ 15:30 ～ ）

- (1) 町長あいさつ
- (2) 教育長あいさつ

2 議 事

- (1) 令和7年度 森町の教育について
 - ・ 健康こども課
 - ・ 学校教育課
 - ・ 社会教育課
- (2) スタートアップ!M o r i ・ A s a h iクラブ事業について
- (3) その他

3 閉 会

(1) 令和7年度 森町の教育について

【健康こども課】

＜人間形成の基礎を培う幼稚園教育の充実＞

- 遊びを通して豊かに学ぶ力の育成
- 豊かな感動体験による知的好奇心の育成
- 集団生活に必要な基本的生活習慣の育成
各幼稚園経営書を基本とし、教育目標とそれを達成するための重点目標を掲げ、教育保育を実践していく。

- 頼もしい教師集団づくり
 - ・各園における園内研修
 - ・教育研究会教員研修部
 - 全体研修 主題「幼児の主体的な姿を目指して」
～教師の指導力・実践力を高める～
3回実施予定
 - グループ別研修 4回実施予定、公開保育
 - ・幼児教育サポートチーム訪問研修（町内幼稚園・保育園）

- 小学校教育との円滑な接続（架け橋期の教育の充実）
 - ・架け橋期のカリキュラム作成検討

- 家庭・地域社会との連携
 - ・各幼稚園PTA活動
 - ・教育内容等の情報発信
 - ・未就園児体験入園
 - ・預かり保育の実施

- 公立幼稚園の再編と認定こども園化の検討
 - ・実務者レベルでの検討会実施予定

【学校教育課】

＜保幼小中一貫教育の充実＞

●保・幼・小・中一貫教育の充実

保・幼・小・中の12年間を見通して、それぞれの段階の接続と連携を深め、指導の工夫と充実を図る。

幼小中一貫教育全体研修会	(5月14日)	開催
〃	(8月1日)	開催予定
校区一貫の日 旭が丘中学校区	(11月19日)	開催予定
〃 森中学校区	(11月12日)	開催予定

＜主体的・対話的で深い学びの深化＞

●全国学力・学習状況調査

4月17日	実施(小6中3)	国語・算数・数学・理科
6月19日	学力向上対策委員会(研修主任)	
7月末	調査結果送付	
10月6日	学力向上対策委員会(研修主任)	

＜外国語教育・情報教育・環境教育の推進＞

●英語教育推進事業

英語教育の充実を図るため、幼稚園、小中学校へ派遣している英語指導助手2名に加え、国のJETプログラムを活用した外国青年4名を招致し、外国語や異国文化を体験的に学ぶ教育を推進する。

・ALT配置状況 (7月1日現在)		
ピエール	(町直接雇用)	旭が丘中学校
クリスティーン	(派遣業務委託)	飯田小学校・幼稚園
シャンテル	(JET)	森中学校
ジャクセン	(JET)	旭が丘中学校・森中学校
グエネス	(JET)	森小学校
ノリアキ	(JET)	宮園小学校

●情報教育推進事業

学校生活におけるICT機器の活用方法について研究するため、各小中学校の情報教育担当で編成された森町情報教育推進委員会を開催する。

また、学校現場におけるICT機器の利活用を支援するため民間企業に委託し、クラス数、教諭数に応じてICT支援員を派遣する。

・ICT支援員派遣回数	
飯田小学校	23回、宮園小学校：45回、森小学校：45回
旭が丘中学校	29回、森中学校：23回
合計	165回

●環境教育推進事業

森林の現場を訪れ、森林環境教育プログラムや高性能林業機械の見学、森林クイズなどを体験し、自分たちの住んでいる町の森林の役割などを学習し、森林を通して環境について興味を持つ機会を提供する。

宮園小学校 5 年生 52 人 11 月 12 日実施予定

森小学校 5 年生 65 人 11 月 13 日実施予定

飯田小学校 5 年生 27 人 11 月 14 日実施予定

<豊かな心や社会の一員としての自覚を育む教育の推進>

●北海道森町児童生徒交流事業

北海道森町と当町の児童生徒が、訪問、受入を交互に実施し、相互に交流を深め友好親善を図る。8 月 5 日～8 月 7 日に訪問をし、体験学習、合同合宿等を実施する。

令和 7 年度派遣団：小学生 6 名（男子 3 名、女子 3 名）

中学生 4 名（男子 2 名、女子 2 名）

引率者 4 名

●広島被爆体験伝承者派遣事業

平和の大切さ、尊さを学ぶ機会として、被爆体験伝承者を招致し被爆体験伝承講話を学校において実施する。

森小学校 6 年生、森中学校 全生徒 6 月 6 日実施

<「森町いじめの防止等のための基本的な方針」に基づくいじめ撲滅の推進>

●いじめ防止対策推進事業

「森町いじめ問題対策連絡協議会」、「森町いじめ防止等対策推進委員会」を開催し、関係機関から委員を招集し、森町のいじめの現状について協議するとともに、インターネット上への誹謗中傷等の書込みなど、いじめの未然防止を図るため、ネットパトロールを実施する。

ネットパトロール（調査対象件数）4 月分(中学校) 124 件(新規 6 件閉鎖 7 件)

5 月分(小学校) 123 件(新規 3 件閉鎖 0 件)

<「個」に応じたきめ細やかな支援・指導の実施>

●通級指導教室「そよかぜ森」、「そよかぜ宮園」、「そよかぜ森中」

森小学校、宮園小学校に加え、森中学校に通級指導教室を開設し、一人一人にあった効果的な支援を行う。

対象者：森小学校 23 名、飯田小学校 6 名、宮園小学校 7 名

森中学校 5 名、旭が丘中学校 1 名

指導員：3 名（県費教諭）

支援員：3 名（委託）

●教育支援センター「わかば」

役場北館に教育支援センターを開設し、不登校児の居場所と保護者の相談機会を確保する。

開設日： 月曜日、火曜日、木曜日、金曜日 9時～15時
水曜日 9時～12時

利用者： 児童4名、生徒8名

指導員： 5名（7月1日現在）

<児童生徒に応じた施設設備の計画的かつ適正な整備>

- 森小学校修景整備工事
- 宮園小学校北校舎ベランダ手摺塗替
- 森小学校校舎トイレ排水取替
- 森中学校放送設備修繕

●学校施設修繕事業

- ・飯田小学校スライド黒板張替え修繕
- ・旭が丘中学校合併浄化槽ポンプ修繕
- ・森中学校揚水ポンプ更新 等

<地域とともにある学校づくりの推進>

●コミュニティスクール

地域住民・保護者と連携、協働して学校活動を行うため、各中学校区に学校運営協議会を設置した。

第1回学校運営協議会にて令和7年度の学校運営の基本方針や、学校活動を取りまく諸問題について協議がされた。

第1回学校運営協議会実施

飯田小学校 5月22日(木) 委員9名
(第2回11月26日(水) 第3回2月19日(木))

宮園小学校 5月20日(火) 委員9名
(第2回11月4日(火) 第3回2月20日(金))

旭が丘中学校 4月15日(火) 委員11名
(第2回10月24日(金) 第3回2月2日(月))

ときわコミュニティスクール(森小・森中) 6月4日(水) 委員9名
(第2回12月8日(火) 第3回2月20日(金))

ときわ地域交流コンサート 6月18日(水)(文化会館・大ホール)

<学校再編の検証と将来の学校のあり方についての検討>

●調査研究

町内幼稚園、小学校、中学校を訪問し、各学校の状況を確認するとともに、県内や近隣地域の学校の再編の状況について情報を収集し、教育委員会において、将来の学校のあり方について検討する。

【社会教育課】

＜地域における人づくりの推進＞

●社会教育総務関係事業

- ・男女共同参画の推進（随時）
生理用品の学校設置
出前講座開催 町内中学校
- ・森町はたちの集いの開催（1月11日）
実行委員を募集し、実行委員の企画・運営で式典・アトラクションを開催
二十歳の主張、記念写真撮影等

●北海道森町交流事業

- ・北海道森町の女性研修生を受入

●生涯学習推進事業

- ・各種学級の開設
保育園・幼稚園で幼児教育学級、小学校で家庭教育学級、中学校で親子教育学級を開設
- ・町内会等の社会教育推進支援
社会教育学級への補助（モデル町内会）、町内会が行う講演会講師料補助、地区単位で行う社会教育活動への補助
役場、病院等の事業説明を行うための出前講座の実施
- ・子供や高齢者向けの講座開設
三歳児親子学級（三歳児の親子対象）
ふるさと学級（小学5年生対象）
令和学級（65歳以上の高齢者対象）
- ・夏休み学習寺子屋
小学生を対象に基礎学力の補充を目的とした学習教室を5日間行う
- ・文化芸術体験寺子屋
小中学生を対象に芸術の体験を目的とした体験教室を1日程度行う
- ・森の夢づくり大学の開講
33講座 学生数369人
- ・書道フェスタ
子どもたちをはじめ、多くの方に「書の文化」、「書の魅力」を伝える
- ・家庭教育支援員の活用
各種学級での学習会の支援や就学児健康診断時の親学講座の実施
「つながるシート」を使用したグループワークの実施

●放課後子供教室事業

- ・飯田小（新設）、宮園小（新設）、森小放課後子供教室の開設
小学校の全児童が対象、各小学校体育館および図書室で開催
体験活動：地域住民が講師となり、さまざまな体験活動を実施
学習支援：退職した教諭などが講師となり、学習支援を実施
- ・三倉・天方放課後子供教室の開設

森小に通学する三倉・天方地区児童が対象、旧天方小学校教室等で活動

●地域学校協働本部

- ・旭が丘中学校区、森中学校区に地域学校協働活動推進員を配置
- ・草刈りや花壇整備、授業補助などを行うボランティアの手配、児童生徒の地域行事への参加調整など地域住民等の参画を得て、多様な地域学校協働活動を実施（地域学校協働活動推進員）

旭が丘中学校区	稲葉百合子	飯田小学校担当
	大場 栄	宮園小学校担当
	松村いずみ	旭が丘中学校担当
森中学校区	山崎浩子	森小学校担当
	平尾靖彦	森中学校担当

●部活動地域移行推進事業

- ・森町地域クラブ活動推進協議会を開催
「部活動の地域連携及び地域移行」、「地域クラブ活動の仕組みづくり」、「地域クラブ活動の運営方法等」について検討
- ・実証事業『スタートアップ！Mori・Asahi クラブ』の実施及び検証

＜文化活動の振興＞

●文化振興関連事業

- ・文化講演会の開催（7月26日）
文化協会・歴史伝統文化保存会との共催
- ・寄贈美術品等の活用
- ・町民文化祭の開催（10月24～26日）
- ・森町の偉人顕彰

●文化財保護事業

- ・森町歴史伝統文化保存会への活動支援
- ・森町文化財保存活用地域計画の作成（3年目）
- ・遠州の小京都リノベーション推進事業
（旧藤江勝太郎家住宅改修実施設計、旧藤江勝太郎家住宅改修等、歴史的建造物調査、城下地区歴史的資源活用まちづくり事業伴走支援、旧周智郡役所移築等基本構想）

●埋蔵文化財発掘調査事業

- ・開発に伴う埋蔵文化財調査の実施

●図書館事業

- ・「ブックスタート事業」の推進
- ・小中学生の読書感想文の募集、読書感想画展の開催
- ・読み聞かせ会の開催（毎月第3日曜日）
- ・講演会の開催（10月19日（日））

●文化会館事業

- ・自主事業の開催（10 公演）
- ・長寿命化対策設備改修事業
小ホール吊り天井耐震補強工事
- ・大ホール吊り物ワイヤー等交換
- ・設備備品の更新及び修繕

<スポーツの振興>

●社会体育事業

- ・小学生・中学生・高校生の全国大会等参加補助
- ・第 26 回静岡縣市町対抗駅伝競走大会への参加(12 月 6 日)
- ・各種スポーツ教室、大会の実施

スタートアップ！Mori・Asahiクラブ（中学部活動地域移行トライアル事業）

1. 事業の背景と目的

○少子化に伴う中学校部活動の縮小・存続困難

- ・生徒数の減少により、部活動の学年構成に偏りが生じ、活動の継続が困難な部が増えている。特に団体競技では、単独チームの編成が難しくなりつつある。

○教職員の働き方改革による休日指導等の見直し

- ・長時間労働の是正が求められる中、教職員による休日の大会引率や指導体制の維持が困難となっており、外部人材の活用が急務となっている。

○生徒に多様な体験機会を保障し、地域全体で育む体制構築へ

- ・学校の枠を超えた多様な種目・活動の提供により、生徒一人ひとりの興味関心に応じた学びの機会を創出し、地域全体で青少年を支える仕組みづくりが求められている。

➡地域移行への取組みの一つとして、体験クラブ活動（トライアル事業）を実施

2. 事業の概要

事業名 : スタートアップ！Mori・Asahiクラブ

実施主体 : 森町教育委員会（社会教育課）

実施期間 : 令和7年9月～令和8年2月（6か月間）

実施日 : 隔週水曜日（月2回）・放課後（15:30～17:00）

対象 : 町内中学校生徒（森中・旭が丘中）

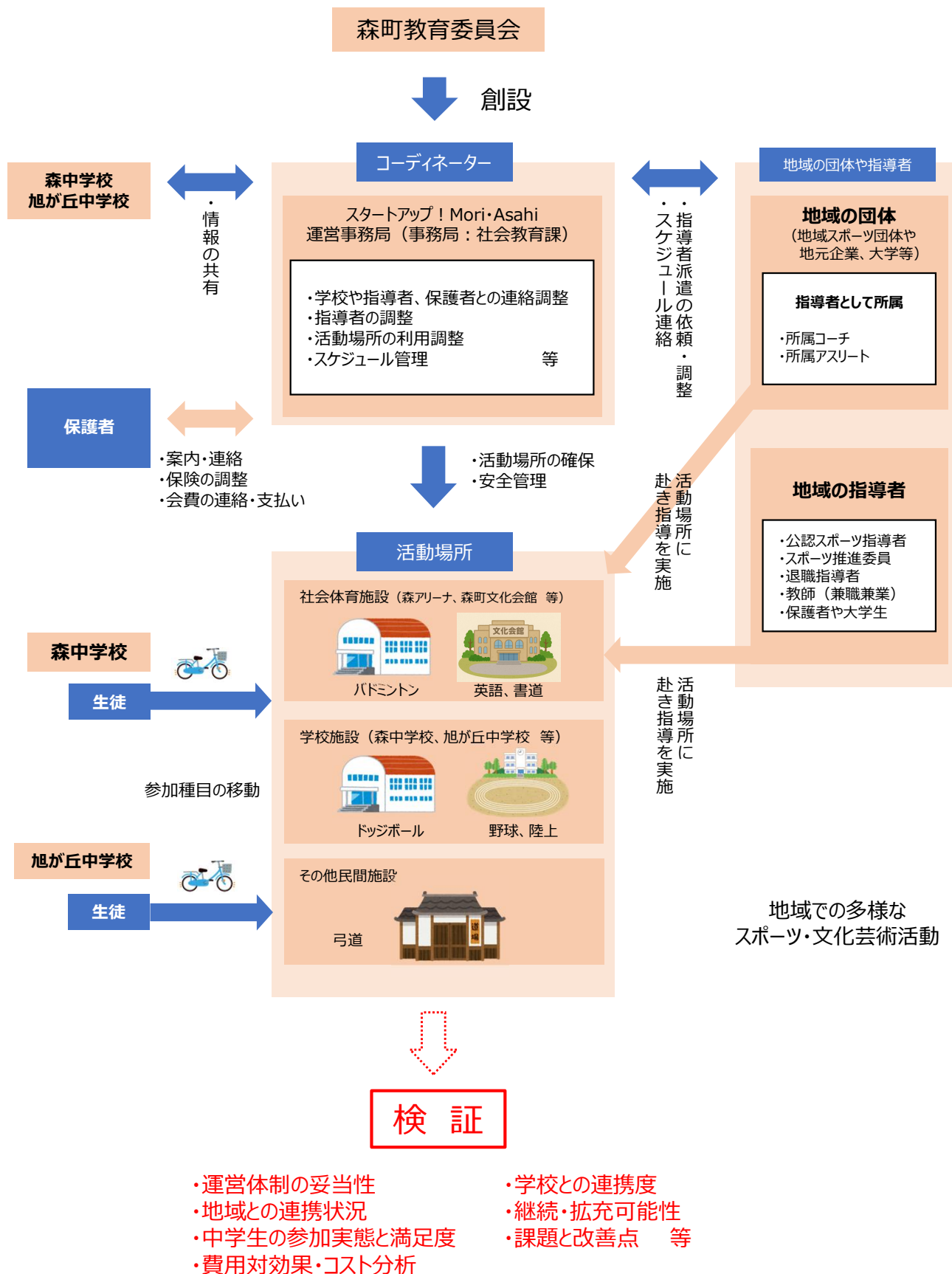
実施種目 : バドミントン、硬式テニス、サッカー、ドッジボール、野球、弓道、陸上
マルチスポーツ、ヨガ、デザイン、英会話、韓国語、書道、硬筆、箏
百人一首・かるた

実施場所 : 森町総合体育館、森町文化会館、町営グラウンド、学校施設 等

参加費 : 6,000円＋スポーツ安全保険料800円

指導者報酬 : 2,000円／時

3. 実施体制（図式）



4. 今後の主なスケジュール

	2025年												2026年																							
	5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月					
	20	30		10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30						
指導者打合せ																																				
				指導者確保																																
PR活動 ・教室紹介チラシ ・教室紹介動画 ・町HP																																				
				準備																																
							「スタート・アップ!Mori・Asahi」PR																													
学校側へ説明 ・学校施設の予約 ・部活動の担当先生と打合せ ・保護者へ説明																																				
				学校側へ案内																																
生徒募集開始 ・参加者・種目決定 環境整備																																				
							募集期間																													
							環境整備																													
指導者研修会 利用施設の本予約 保険加入																																				
										予約・保険																										
													● 研修会																							
【スタート・アップ! Mori・Asahi】実施																																				
																			実施期間																	

並行して事業の検証

5. 期待される効果

- **新たな担い手の発掘・育成が進む**
 - ・地域住民や大学生など、これまで地域のスポーツ・文化芸術活動に携わる機会が少なかった人材が、指導者として活躍するきっかけとなる。
- **地域クラブ立ち上げに向けた貴重な実践経験**
 - ・トライアル事業を通じて、今後の地域クラブ設立に必要なノウハウや運営体制を検証・蓄積できる。
- **学校では実現が難しい種目も含めた、多様な体験機会の提供**
 - ・学校にない種目や内容にも挑戦でき、生徒一人ひとりの興味関心に応じた学びが可能となる。
- **学校との連携強化**
 - ・学校と地域が役割を分担することで、教職員が本来の教育活動に注力でき、負担軽減にもつながる。
- **子供から大人まで一緒に活動できる地域クラブの創設につながる**
 - ・地域クラブの創設により、子供から高齢者までが一緒に学び、交流できる生涯学習の場生まれる。世代を超えたつながりの中で、地域ぐるみで子どもを支える体制が整い、持続可能で活気ある地域社会の形成につながる。



得られた成果・課題は、地域移行に向けた重要なフィードバックとなり、持続可能な地域クラブ活動の基盤づくりに資する